

我

官國時運の沿革と

總論

五綱紐を解て

相宗権を執り

保平の乱政権

武門子移てり

我祖宗子たり

父子

寵眷と蒙り武百

餘年子孫相父

我子職を承りて

雖も政刑尚を失ふ

不肖今日之形勢

至るも早言を為す

取致ふ堪慚懼

況や尚今外國

實際日子成る

し愈

之愈

朝権一途に不出し

綱紀冠之為深

回響を改政権を

朝廷に悔し廣く

天下に公議を

正し

要路を仰ぎ國を

懐り共

皇國を保護せし

必は海外萬國と

一並に我國に

平等なること

猶且に此に

所忘諱を

了ん

十月